第10回 東京大学ホームカミングデイ
10th THE UNIVERSITY OF TOKYO HOMECOMING DAY

東京大学地震研究所

～資料が語る～

地震と津波の記録

展示日時：１０月２９日（土曜）１１：００～１４：００

展示場所： 地震研究所１号館　２階ロビー

地震研究所では、『第 10 回東京大学ホームカミングデイ』において地震研究所図書室所蔵の鯰絵及び明治三陸地震津波（1896 年）・昭和三陸地震津波（1933 年）・東日本大震災（2011 年）に関する各資料を展示いたします。和古書を中心とした資料から過去におきた地震や津波を知り、資料の保存の重要性について考えます。

明治三陸地震津波

明治丙甲三陸大海嘯之實況（1896）小国政筆

災害年 明治 29 年 6 月 災害絵地図 木版(錦絵)地域 三陸 35.3×92.3

海嘯とは河口に入る津波が垂直壁となって河を逆流する現象。北は北海道及び青森の一部より南は福島県に波及し、沿岸に甚大なる被害をおよぼした。津波を題材におそらく伝聞などにより描かれたと思われ、誇張された部分もあるが、当時の津波に対するとらえ方や災害直後の状況を知り得る。

地震研究所図書室